

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	地域間・世代間交流事業	所管	保健福祉部 高齢者支援課
			TEL 2998-9120

事業の目的 (何の為に 行うか)	地域間・世代間交流事業のボランティアスタッフとして、長年培ってきた知識や経験、技術等について話し合い、地域でお住まいの方や子ども達に世代を超えての交流や仲間づくりを目指すものである。そのことが高齢者の生きがいづくり、健康づくりになり、地域の活性化や介護予防にも繋げるものである。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市内在住の60歳以上の高齢者。	対象とした数	86,591	人
		実際に 利用した数	300	人

活動の内容 (何を したか)	ボランティアスタッフ個人の希望に沿ったグループを編集し、ボランティアに対する基礎知識や心得を習得し、文化、伝承遊びの継承、スポーツ・レクリエーション、芸術や趣味に関すること等の内容の交流事業をグループ毎に実施する。1年経過した後は、グループ毎に自主事業として市から離れて交流事業を続けていただく。								
	活動実績	項目名	ボランティアスタッフ登録者数	51 ----- 単位 人	項目名	全事業の参加者数	300 ----- 単位 人	項目名	事業の開催数

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	150	167	731	2.2

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	ボランティアスタッフ登録率	ボランティアスタッフ登録者数/目標値	100 ----- 単位	51 ----- 単位	51.0 ----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []			
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止			
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了			

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 * 有り⇒下記評価へ 無し⇒終了				
	総合 評価	* 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了			
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了			

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	040400	TEL	2998-9120
事業コード	地域間・世代間交流事業					
040422						
開始年度		平成 19 年度	—	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託＋附加			根拠法令				
	分野別計画・指針								
	関連・類似事業	所沢市地域間・世代間交流事業実施要領							
	総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	3節 高齢者福祉	中柱	2 生きがい支援の充実	小柱	(2) 世代間交流の促進
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 1 位		・実施計画における位置づけ… H19 A H20 O					

③事業の内容	目的(何のために行か、具体的に)	地域間・世代間交流事業のボランティアスタッフとして、長年培ってきた知識や経験、技術等について話し合い、地域でお住まいの方や子ども達に世代を超えての交流や仲間づくりを目指すものである。そのことが高齢者の生きがいづくり、健康づくりになり、地域の活性化や介護予防にも繋げるものである。						
	対象(誰を、何を対象としているのか)	市内在住の60歳以上の高齢者。		利用数の考え方		参加者数		
	対象数	単位	平成 18 年度	82,044	人	平成 19 年度	86,591	人
	利用数	単位	平成 18 年度		人	平成 19 年度	300	人
	事業の具体的な内容及び実施方法 ボランティアスタッフ個人の希望に沿ったグループを編集し、ボランティアに対する基礎知識や心得を習得し、文化、伝承遊びの継承、スポーツ・レクリエーション、芸術や趣味に関する内容等の交流事業をグループ毎に実施する。1年経過した後は、グループ毎に自主事業として市から離れて交流事業を続けていただく。							

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	≪ 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ≫	
	総合評価	<input type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])	
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了	
	平成19年度中に改善した点 特になし		

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算			150	190
	決算 (見込み含む)			167	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人)	(人) (0.05 人)		
	正規職員人件費	人	0	0.06 人	564
	公債費				
	事業費合計		0	731	
	財源内訳	一般財源	0	731	190
	国・県支出金				
	受益者負担金				
市民一人当たり(単位:円)		0.0	2.2		
利用数一単位あたり(単位:円)	***		2,435.5		

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	ボランティアスタッフ登録者数	人		51		
		全事業の参加者数	人		300		
		事業の開催数	回		17		
	成果分析	ボランティアスタッフ登録率	ボランティアスタッフ登録者数/目標値		目標値	100	100
				実績	51		実績値の拡大を図る1
			%	達成率	51.0		実績値の縮小を図る2 1

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 所沢市 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業 <input type="checkbox"/> 統合等必要ななし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	19年度より開始された事業のため、市民への周知が不足している。		
	平成20年度における目標設定	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
	虐待や徘徊及び孤独死など、高齢者の生活様式の変化によって、家族や地域の支える力は衰退しつつあるが、当事業で地域間・世代間の交流を図り、高齢者の生きがいづくりを目指す。	広報及び説明会により事業の周知を図り、より多くの方にボランティア活動に参加していただく。	平成20年5月	
平成21年度における事業の方向性				
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])			
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由	当事業は平成19年度より開始した新規事業であり、高齢者施策の中心的な事業である。このため、他事業との連携を図るなど高齢者の生きがいづくりを目指し継続して実施している。			
評価日	平成20年5月2日	記入者職氏名	高齢者支援課長 鏡 諭	

⑧二次評価	事後評価	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了				
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
評価理由	H19市民意識調査にて高齢者施策は最も市民の要望が高い分野であり、さらに本事業の主旨の達成は後期基本計画に位置づけられていることから、取り組みの充実が必要である。現状では世代間交流の視点が弱く、実際に行われている学校や保育園などの世代間交流事業を洗い出したうえで、本事業が担うべき交流の形を再度検討すべきである。					

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	◎個別計画			
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	基本目標			
	主要課題			
施策の方向				